



ジョン万のふるさと土佐清水

たしみず



市議会だより

第126号

2023年9月1日

NISSAN スポーツクラブ



はまゆうクラブの
皆さん

5月・6月会議

- ◎5月・6月会議の概要..... 2
- ◎議案等の議決結果..... 3
- ◎一般質問(要旨)..... 4
- ◎委員会の審査内容(抜粋)..... 11
- ◎議長の活動報告..... 15
- ◎議会目誌..... 16



R5.6.19
議会再開日



R5.7.6
議会散会日

議会再開日及び散会日の様子は
こちらからご覧いただけます



6月会議では、台風2号による 災害復旧関連の補正予算を

全会一致で可決

5月会議の概要

5月会議は、5月8日に再開し、審議期間を1日と決定し、市長から報告5件、議案4件及び同意案1件が提出されました。議案については、所管の委員会に付託し、審査を経た後、審査結果報告が行われ、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決、同意案についても全会一致で同意し、散会いたしました。

6月会議の概要

6月会議は、6月19日に再開し、審査期間を6月19日から7月6日までの18日間と決定し、市長から議案6件が提出されました。

また、陳情第1号「土佐清水市議会議員定数削減に関する意見書」が提出され、所管の議会運営委員会に付託しました。

一般質問は、6月26日から28日までの3日間行われ、高齢者介護、地域包括支

援センター、人口減少と少子化対策、泥谷市長・磯脇副市長・永野議員の三人による個人情報の不適切な取り扱い、朝ドラ効果に乗じての本市の観光対策、投票支援カートの導入、農地の災害復旧など、7人の議員が質問戦を展開しました。

また、28日の一般質問終了後には、市長から議案1件が追加提出され、再開日に提出された議案と合わせ、7件の議案について、所管の委員会に付託いたしました。

最終日には、6月会議で付託された議案について、各常任委員会から審査結果の報告を行い、採決の結果、議案第38号については賛成多数により、その他の議案については、全会一致により、原案のとおり可決しました。

また、陳情第1号については、継続審査とし、令和5年土佐清水市議会定例会6月会議を散会いたしました。

令和5年5月1日発行の「とさしみず市議会だより第125号」につきまして、誤りがありました。市民の皆様には、大変ご迷惑をおかけし申し訳ありません。お詫びして訂正いたします。

なお、ホームページの市議会だよりは、修正して掲載しておりますのでご了承願います。

○作田喜秋議員の一般質問 (P11)

上から3段目、市民課長答弁部分 (誤) 経済社期 → (正) 経済社会
下から2段目、左から5行目の答弁者 (誤) 健康推進課長 → (正) 副市長

人事案件

●固定資産評価審査

委員会委員

○野村 仁美 氏

(沙見町)再任

議案等の議決結果

議会	番号	件名	議決結果
5月会議	報告第1号	専決処分した事件の報告について(工事委託協定の変更について)	—
	報告第2号	専決処分した事件の報告について(水道使用料債権の放棄について)	—
	報告第3号	専決処分した事件の報告について(土佐清水市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について)	—
	報告第4号	専決処分した事件の報告について(土佐清水市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例の制定について)	—
	報告第5号	専決処分した事件の報告について(土佐清水市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	—
	議案第30号	令和5年度土佐清水市一般会計補正予算(第1号)について	可決
	議案第31号	議会の議決に付すべき事件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第32号	土佐清水市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第33号	土佐清水市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	同意案第1号	土佐清水市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意
6月会議	議案第34号	令和5年度土佐清水市一般会計補正予算(第2号)について	可決
	議案第35号	土佐清水市職員特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第36号	土佐清水市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第37号	土佐清水市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第38号	土佐清水市立保育所・小学校統合実施プランの策定について	可決
	議案第39号	財産の取得について	可決
	議案第40号	令和5年度土佐清水市一般会計補正予算(第3号)について	可決
	陳情第1号	土佐清水市議会議員定数削減に関する意見書	継続審査

賛否の分かれた議案

番号	件名	新谷英生	形岡弘士	弘田条	武政健三	山崎誠一	吉村政朗	作田喜秋	岡本詠	細川博史	前田晃	浅尾公厚	永野裕夫	議決結果
議案第38号	土佐清水市立保育所・小学校統合実施プランの策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	○	○	可決 (賛10、反1)

細川博史議長 ご逝去される



市議会議長細川博史氏が、在職中の7月9日にご逝去されました。

同氏は、土佐清水市議会議員に平成26年初当選されて以来、3期8年10か月にわたり議員を務められました。

この間、第61代議長を始め、議会運営委員会委員長、予算決算常任委員会副委員長、産業厚生常任委員会副委員長など多くの重責を担われました。

在職中は、消防団やPTA活動を通して培ったリーダーシップを発揮し、本市の発展に寄与されました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

一般質問

吉村 政朗

議員



一般質問の様子は
こちらからご
覧いただけます。

(その他の質問)
・しおさいの運営について
・面会室の設置について
・市有財産の無償譲渡につ
いて

1 オーガニック給食の 導入について

(議員)

除草剤や農薬による人体への影響が報告されている。

3月会議でオーガニック給食の導入を提案したが、導入は考えていないとのことであった。

学校給食で最優先されるべきは、子供達に安心安全な食事を提供することだ。導入に向け本格的な検討に入るべきと考える。

(教育長)

オーガニック給食は除草剤や農薬の接種リスクを下げるという理解している。

文科省も支援するようになってきているが、JAS認証の問題等があるので、本市としてできることから始めたい。

2 高齢者介護について

(議員)

本市は介護職不足により、在宅介護が大変厳しい状況にある。

一方、入居型の介護施設は満床で入りたくても入れない状況となっている。

第9期介護保険事業計画の策定に当たっては、入居系サービスの確保が必要不可欠だと思いが、見解を聞く。

(健康推進課長)

介護サービスの見込み量の算出作業はこれからとなる。

今後の被保険者数及び介護認定者数や入所待機者数を把握精査し、施設サービスの見込み量を適切に算出する。

(議員)

浦尻のデイサービスセンターとグループホームが廃業予定だと聞いているが？

(健康推進課長)

デイサービスセンターひまわり及びグループホーム桜の園の廃止は急なことであり、市としても現在の利用者が次の受入先に円滑に移行できるように事業者指導等を行っている。

市として可能な取組を進めるとともに、必要なサービスの量の確保につとめる。

(総務課長)

周辺情報のみでは当該法人の廃業は判断できないが、事実確認をして市との契約規定に基づき健康推進課と一緒に対応したい。

(議員)

本市は既に2040年問題(多死社会)に入っている状況だ。

多死社会の課題として「みどり」問題が大きく注目されている。

次期計画で取り上げるべきと考える。

(健康推進課長)

人生の終末を迎える際に、人は終末期を過ごす場所を自由に選択できる環境整備が必要だ。

次期計画への「みどり」については、委員の意見をいただき策定作業を進める。

気になる用語

2040年問題(多死社会)...

2040年問題とは、少子化による急速な人口減少と高齢者人口がピークに達することで、日本が2040年に直面すると考えられている問題の総称。

高齢者人口の増加に伴い、労働力人口の減少が懸念され、あらゆる業種で人手不足が発生すると推計されている。

また、高齢者人口の増加後に伴う死亡者数の増加により、人口減少が加速する状況は「多死社会」と呼ばれ、医療や介護など様々なサービスが受けられなくなる可能性がある。

一般質問

弘田 条 議員

1 地域包括支援センターについて

（議員）

本年度4月から市直営での地域包括支援センターの運営が始まった。

土佐清水市の人口は直近で12,120人、65才以上の高齢者比率51・2％となった。

私のまわりでも、認知症や難聴・歩行困難の方が増えてきた。今、土佐清水市での課題の一つは高齢者対策と身をもって感じている。問題点や課題について健康推進課長に聞く。

（健康推進課長）

令和4年度の傾向として、相談を受け訪問をする、相談以外の問題を抱えている対象者が多く、認知症、家族の介護力不足、経済的困窮、高齢者虐待の疑い、



身元引受人の不在など、様々な問題が複合化・複雑化したケースが増加しており、総合相談としてなかなか終結に至っていないことが課題となっている。

（議員）

今後更に、様々な問題や、相談件数も増えて来ると思う。

対応する専門の職員ももっと必要になってくると思う。

職員数増に向けて取り組んでほしい。



地域包括支援センター



↑
一般質問の様子は
こちらからご
覧いただけます。

2 市施設のLED化について

（議員）

市施設のLED化について、以前の一般質問の時に土佐清水市地球温暖化対策実行計画に基づき進めるとの答弁があったが、答弁のとおり、毎年市施設のLED化が進み改善されてきた。

LED化の実績を総務課長に聞く。

（総務課長）

令和3年度と令和4年度の実績について、下ノ加江市民センター・三崎市民センター・下川口市民センター・布福祉センター・大岐福祉センター・松崎福祉センター・市民図書館・横道トンネルなど合計15箇所の施設でLED化を実施した。



市民図書館LED化工事後

（議員）
LED化する事で明るくなり、電気代も安くなり、管理も軽減される。今後とも計画的に進めてほしい。

（その他の質問）

・ヤングケアラーについて

一般質問

新谷 英生 議員

1 人口減少と少子化

対策について

(議員)

土佐清水市まち・ひと・しごと創生総合戦略にある基本目標3の「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の現状は？

R6年度に60名という目標値とあったが詳細は。

(企画財政課長)

子育て環境充実の施策をしてきたが、出生数がR2年度32人。R3年度39人。R4年度は過去最低の26人となっている。

目標達成は極めて厳しい。

(議員)

出生者数増加に向けて、結婚・出産までの支援、男女の出会い等に大胆な施策が必要ではないか。

(企画財政課長)

高校までの医療費無料や保育園・幼稚園の保育料完全無償化等様々な少子化対策は実施してきたが、出生者増加には至っていない。

(議員)

出生者数増加に向けての副市長の所見を聞く。

(副市長)

全国的な課題であり特効薬もないのが現状。

政府の異次元の少子化対策に期待している。

総合的に全庁あげてこの問題に取り組む。

2 地域電子通貨

Meji-Caについて

(議員)

令和2年10月から運用開始の地域電子通貨Meji-Caの市内業者の加盟店、利用実績を聞く。

(観光商工課長)

令和5年6月時点で190店舗で、利用総額は16.6億円。うち市民向けに計5回の給付が約4.2億円。キャンペーンに約1億円。利用者自身のチャージが約9.5億円。

(議員)

Meji-Caの利用実績からどのような分析をしているかを聞く。

(観光商工課長)

コロナ禍において地域内消費喚起、デジタル化による



一般質問の様子はこちらからご覧いただけます。

る効率化が成果と、プレミアムポイントが3%の付与で約4億円チャージの消費も掴めた。

(議員)

健康アプリとの連動やボランティアや市のイベントへの参加でのポイント追加なども考えられるが、Meji-Caの今後の展開可能性について聞く。

(観光商工課長)

今後はMeji-Caのデジタル機能をさらに活かすことが重要。

今年度に構築される「分析システム」に期待をしている。

(議員)

今後のデジタル化に市民も対応できるように進めていく必要があると思うが副市長の所見を聞く。

(副市長)

デジタル社会への対応は必要不可欠。国県の動向をみながら推進していく。



一般質問

岡本

詠 議員



↑
一般質問の様子は
こちらからご
覧いただけます。

1 泥谷市長、磯脇副市長、永野議員の三人による個人情報の不適切な取扱いについて

(議員) 職員に個人情報を渡す時、どのような注意をしているか？

(総務課長)

住所・電話番号記載分の事務分掌表は、個人情報として慎重に取り扱う必要があることから、交付対象者以外への配布は差し控えるよう注意喚起を行っている。

(議員)

磯脇副市長が永野議員に個人情報を渡したことの根拠法令として、逐条地方公務員法の指揮命令関係の解説や市個人情報保護条例第9条2項3号を根拠として

いるが、その全てにおいて当てはまらないことは、これまでのやり取りを法令に照らし合わせて見れば分かる。

永野議員、磯脇副市長泥谷市長の3人が総務課に知らせず秘密裏にコソコソやった結果起こった個人情報漏えい事案に対し、市民の税金を使い謝罪文を出している。なぜ3人が恣意的にやった問題に市民の税金を使うのか。

また、約400名の市職員等の個人情報が第三者に渡っているにもかかわらず、半数以上の約250名の職員には謝罪や説明すらしていない。市の個人情報漏えい事案として認識できていないと思う。

ここまで言っても、あなたたちに責任はないと言えるのか。

泥谷市長、磯脇副市長に

は、明らかな法令違反があり政治倫理上の責任は極めて重い、その責任は取るべきだと思ふ。

(副市長)

副市長は、俗に言う公職選挙法で選ばれた「政治家」に当たらないのではないかという私の見解。

私は法令違反は行っていないと認識しており、政治倫理に反するのではないかと言うことに関しては、私は選挙により負託を受けた政治家でなく、市長から指名を受け議会で御承認いただいた身分で、政治倫理という概念にはあまり馴染まないものと思っているが、倫理観はしっかり保持しなければならぬと考えており、公務員倫理にもとるようなことはあってはならないと認識している。

今回の事務分掌表が結果

的に不正利用をされたことは、大変遺憾であり、このことは重く受け止めている。このことを教訓に、今後の市政運営をしっかりと行っていく上で責任を果たしていきたい。

気になる用語

逐条地方公務員法の指揮命令関係の解説とは…

一般職の地方公務員は上司の命令に従って職務を遂行するものであり、特別職の地方公務員は法律や自己の学識経験等に従って自らの判断と責任で職務を遂行することが期待されている。

(橋本勇『新版逐条地方公務員法<第5次改訂版>』、学陽書房、2002年3月、52頁)

一般質問

武政 健三

議員



↑
一般質問の様子は
こちらからご
覧いただけます。

1 朝ドラ効果に乗じての
本市の観光対策について

(議員)

道の駅改修後の入込客数
及び売上げの昨年対比は

(農林水産課長)

令和5年5月入込客数
18,162人、売上額17
38・3万円、令和4年5
月入込客数8,300人、売
上額574・1万円

(議員)

入込客数が約2・2倍、
売上額が約3倍と好調、イ
ベントをしっかりと企画しな
がら売上げアップを願う。

次に、国土交通省から出
た「地域一体となった観光
地・観光産業の再生・高付
加価値化事業」とは

(観光商工課長)

観光地域の「稼ぐ力」を回

2 台風2号での
防災対策について

(議員)

避難指示(警戒レベル4)
とは

(危機管理課長)

5段階の上から2番目に
あたり、危険な場所からの
避難が必要とされる方へ提
供される避難情報。

レベル5は災害が切迫も
しくは既に災害が発生して
いる段階で移動も困難とな
る状況なので、レベル4ま
でに避難を行うことが重要。

(議員)

2,283世帯、3,98
8人に避難指示(警戒レベ
ル4)が出たが各地の避難
状況は

(危機管理課長)

市内10力所の避難所を開
設、避難した人数は合計28
人。

(議員)

28人とは危機管理の意識
が薄すぎる。

レベル5ですすでに遅い、
レベル4の時点で避難すべ
きと市民の皆さまにしま
り認識していただくべき。

次に防災行政無線が聞こ
えにくい場所への対応は

(危機管理課長)

危機管理課へ連絡いただ
ければ、聞こえにくい家庭
には防災無線戸別受信機を
無料配布している。

また防災無線の内容を文
字情報として通知する防災
アプリハザードンの普及啓
発にも努める。

(議員)

無料で配布してくれるん
ですね！

そして防災アプリハザー
ドンはマップにて避難場所
の情報なども閲覧できるの
で是非活用しましょう。

気になる用語

防災アプリハザードンとは…

気象庁からの情報の他に、自治体からの災害情報を受け取ることができ
る。

土佐清水市では防災行政無線で放送した内容や避難所設置情報等を文字情
報として受信することができる。

一般質問

作田 喜秋 議員

議員



↑
一般質問の様子は
こちらからご覧いただけます。

1 投票支援カードの導入について

(議員)

選挙の投票には代理投票制度があり、広く認知されている。

しかし自分の希望をうまく伝えることが難しいために、不自由を感じている方々がいると認識している。

改善策として愛媛県の四国中央市等では、「投票用紙に代筆してほしい。」「候補者名を読んでほしい。」等を専用の用紙にチェックを入れて、窓口で提出することで、スムーズに投票ができる「投票支援カード」を導入し、成果を挙げている。本市でも導入はできないか。

(選挙管理委員会事務局長)

「投票支援カード」は今年4月の統一地方選挙から一部の自治体で導入され利用の実績も上がっているとのこと、今後は、実際の導入自治体の事例等も研究し、前向きに検討したい。

2 熱中症対策の推進について

(議員)

熱中症から市民の生命を守るための取組について。

(健康推進課長)

日頃から地域への訪問活動を実施。

保健師、栄養士等により、運動教室・いきいきサロン等で、熱中症予防等の取組をしている。

(議員)

子供の通学時における熱中症対策について。

(こども未来課長)

規則正しい生活、帽子の着用や服装の調整、水筒を持参し、こまめに水分を摂ることなど日々、指導している。

また保健だより等により

情報提供や注意喚起もしている。

(議員)

高齢者等の熱中症対策に係る支援について電気代の高騰によりエアコン使用を控える傾向にある高齢者等に支援はできないか。

(副市長)

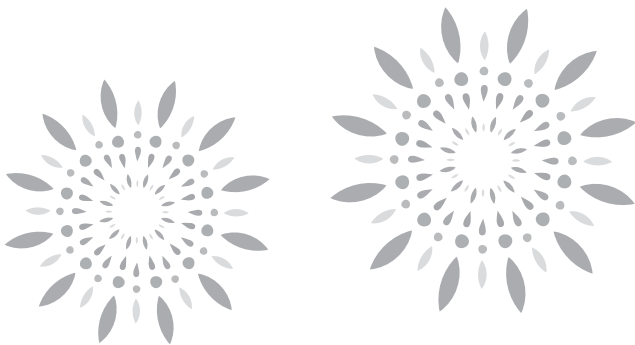
熱中症対策としてはないが、国の交付金を活用し、MejiCaで5千円の給付を8月に予定している。この給付を活用し、高齢者等の皆様にはエアコンの使用を控えることなく、この夏を健康にお過ごしいただきたい。

(議員)

選挙の開票所において職員や開票立会人等の熱中症対策として空調設備の導入はできないか。

(選挙管理委員会事務局長)

開票所の熱中症対策は看過せず今後検討していかなければならぬ事項。学校施設でスポットクーラーの保有があり、今後暑い季節に行われる選挙開票所には、積極的に活用し、熱中症発生リスクを防止したい。



一般質問

前田

晃

議員



一般質問の様子はこちらからご覧いただけます。

1 農地の災害復旧について

(議員)

大雨のたびに遊水池的な役割を果たしている長野地区の公益性を考慮して災害復旧事業の受益者負担分を公費で賄えないか。

(副市長)

長野地区の農地が遊水池的な機能を果たすことで下流域の災害を防いでいることは理解しているが、災害はいつ・どこで起こるか分からない中で、公平性を担保するためにも長野地区だけに特別な支援をすることは難しいと考える。

(議員)

長野地区は他地区と異なり、固定堰による越水を止める手立てがなく、大雨のたびに復旧工事の自己負担

が必要になる。ぜひ検討を。

2 教育行政の問題について

(議員)

セクハラ問題の経過。

(教育長)

昨年度、市内小学校元教頭が臨時講師にしつつく交際を迫るセクハラ行為があった。

8月末に問題が発覚し元教頭が謝罪。元教頭には関わりを持たず距離を置くよう指示した。

11月に保健室に元教頭が来て「妻子持ちの人とデートしているのを見た」と聞いたと話したことが同講師の強いストレスとなり突発性難聴を発症し休職。

同講師母から厳しい処分を求めるとのことであり対応を約束した。

(議員)

元教頭はセクハラ行為のほかにも、県教委幹部の名前を使って手紙を偽造したり、被害者が不倫をしているというデマ情報の裏工作をするなど、ウソとでっち上げが見られ極めて悪質。厳正な処分が必要。

事案を県教委に報告しなかった理由と市教育委員会への報告は？

(教育長)

和解できれば市教委でも協議しないので、8月は県教委にも報告しなかった。

12月以降についてはハラスメントガイドラインに沿った対応が必要だった。

(議員)

教育委員会は合議制の執行機関。できるだけ教育長の専決は控え、委員会の合議に基づいて対応すべきで、

和解についても事前に協議するか、事後報告すべきだった。

セクハラが原因の退職には制度上の救済措置(公務災害等)はないか。

(教育長)

救済措置は十分に把握していない。県教委と協議し対応する。

(議員)

3月末人事異動で元教頭を市教委付にしなかった理由は？

(教育長)

余裕ある教員配置ができない中で、市教委付も学級担任を外すこともできなかった。

気になる用語

土佐清水市立小中学校職場におけるハラスメントガイドラインとは…

非常勤教職員を含む土佐清水市立小・中学校すべての教職員におけるハラスメントに対する基本姿勢やハラスメント相談の手続き、問題解決の方法等について指針を示したもの。

各ハラスメントに該当する可能性が高い具体的な言動についての例や加害者にならないための注意事項、被害を受けたと感じた場合の行動指針、学校長の責務等について明示されている。

委員会の 審査内容 (抜粋)

5月会議

予算決算常任委員会

令和5年度土佐清水市

一般会計補正予算

(第1号)について

◆コミュニティ助成事業

交付金について

(委員)

今回5地区がどのようなものを購入する予定か。

(執行部)

津呂地区については、宮太鼓、布郷地区は神輿と祭りの浴衣、大岐地区はカラオケや有線放送の一式工事、竜串地区が神輿と宮太鼓、市街地区はコミュニティセンターの設備一式をそれぞれ購入予定。

◆子育て世帯生活支援

特別給付金について

(委員)

対象者328名分の該当要件は。

(執行部)

該当要件は3種類。まず1つ目が、令和5年3月分の児童扶養手当受給者で5月11日に振り込み予定の157名。2つ目が、令和4年度「低所得者の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援給付金」受給者138名。3つ目が、その他低所得の世帯で、令和5年度の住民税が非課税と見込まれる33名分を予定。

総務文教常任委員会

議会の議決に付すべき事件に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(委員)

学校の統合について保護者の意見を十分尊重しながら、継続してやっていただきたい。

(執行部)

保護者の不安がないよう話を聞き進めており、今後も引き続き保護者や地域の声を聞きながら取り組む。

産業厚生常任委員会

土佐清水市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

(委員)

本市での減免対象者は何人ぐらいを見込んでいるのか。

(執行部)

資格取得以外で3月に転入してきた方の中には対象者おらず、令和5年3月に65歳になられた方27名が対象者と見込んでいる

6月会議

予算決算常任委員会

令和5年度土佐清水市

一般会計補正予算

(第2号)について

◆配合飼料高騰激変緩和対策 事業費補助金について

(委員)

詳細について説明を求め。

(執行部)

畜産農家の配合飼料の価格上昇分に対する補填であり、価格上昇分の50%を支援する事業を国が県を通じて実施しており、この事業に上乘せし、価格上昇分の40%を市が支援するもの。

(委員)

予算審議における事業説明書では4月から9月までが対象とのことだが、10月以降は継続されるのか。

(執行部)

この事業は、県の事業に上乘せという形をとっており、対象となる期間も同

じように4月から9月までとしている。10月以降については、県の動きを見ながら検討していく。

(委員)

10月以降支援がない可能性があるなら、9月までに買い置きをしておいたかどうか。そういう指導や声かけをしたらよいのではないか。

(執行部)

この補助金の支援が、実際に購入した数量もしくは、最初の1年間の契約数量のどちらか少ない方に応じて支出しようとするもので、支援が10月以降ないかもしれないという点と、9月までに多く購入しても、この契約数に応じた出するため超えた分は補助対象にならない。今後についてはどうなるかわからないが、畜産農家には適切に周知していく。



◆中学校体育連盟事業

補助金について

(委員)

詳細について説明を求めらる。

(執行部)

中学校の運動部の生徒がいろいろな大会に出場する際の宿泊費や交通費などの経費に対して補助するもの。

昨年度までは、市のマイクローバスが2台あり、これを利用して市内の交通事業者に運転業務を委託していた。

また、市のマイクローバス2台で足りない場合や他の課の業務で空いていない時などは、市外の交通事業者のバスを借り上げ、各種大会への参加を行っていたが、今年の4月から運転業務について、市内の交通事業者が対応できないというところになったため、市外の交通事業者のバスの借り上げのみで対応しなければならなくなった。なお、今年度から、業者が運転業務を対応できない

状況が変わってくる可能性もある。

来年度以降、どのような形になるかわからないが、同じようなことが考えられる。

こういった問題は、こども未来課だけではなく、全庁的にケースがあり、企画財政課、総務課とも一緒に今後検討をしていく。

(委員)

入札の結果、落札できなかった業者にも運転手がいると思うが、そこにお願いはできないものか。

(執行部)

お願いはしたが対応できないという返答だった。

◆令和5年度土佐清水市

一般会計補正予算

(第3号)について

(委員)

事業の詳細について。

(執行部)

修繕料については、布地区、加久見地区、爪白地区の3地区であり、工事請負費については、加久見地区

の復旧工事の費用。

18節のうち、小規模基盤

整備事業補助金は、津呂地区と布地区の補助金、農地機能回復事業費補助金は、貝ノ川郷地区、平ノ段地区、市野瀬地区2件、布地区、下益野地区の計5地区6件に対する補助金として計上している。

◆林道費について

(委員)

事業の詳細について。

(執行部)

林業関係は、布地区、立石地区、鍵掛地区、久百々地区、上野地区の計5地区に対する修繕費用として計上している。

◆治山事業費について

(委員)

修繕料の詳細は。

(執行部)

布の流路の土砂撤去の費用として計上している。

◆すみよいまちづくり費

について

(委員)

事業の詳細について。

(執行部)

修繕料については、33件修繕箇所があり、825万円を計上、手数は、三崎斧積上野線と長野市野々線の2か所での費用を計上している。

すみよいまちづくり事業費補助金については、大

岐地区、津呂地区、鳥淵地区、貝ノ川郷地区の計4件を計上している。

◆道路新設改良費について

(委員)

事業の詳細について。

(執行部)

菌朶ノ浦線の道路改良舗装及び擁壁工事を計上している。

◆河川費について

(委員)

河川しゅんせつ工事の場所はどこか。

(執行部)

以布利のクダシ谷川、上

野のユドン谷川を予定している。

◆農業用施設現年補助

災害復旧費について

(委員)

事業の詳細について。

(執行部)

委託料として、農業施設の災害復旧事業の査定設計書等の作成業務費用を計上。

工事請負費として、立石

地区の農道災害復旧工事、

長野地区の農地災害復旧

工事、農道災害復旧工事、

平ノ段地区の水路災害復

旧工事を計上している。

(委員)

査定設計業務というの

はどういうものか。

(執行部)

現地調査、測量、写真撮影、査定図及び査定設計書の作成を行う。

◆河川等単独災害

(委員) 復旧費について

事業の詳細について。

(執行部)

道路は長野市野々線。

河川は下ノ加江の八坂

谷川、下ノ加江の摺木谷川、斧積の山ス谷川、宗呂

のクルマ谷川、下ノ加江の

清水谷川の災害復旧を予

定している。

◆河川等現年補助災害

復旧費について

(委員)

事業の詳細について。

(執行部)

道路が布立石中村線、歯

葉ノ浦横峯線、遠奈呂線、

叶崎脇ノ川線、大津小学校

線の計5件。

河川は、立石のタチバ谷

川、鳥淵のトリブチ谷川、

歯ノ浦の西谷川、市野瀬

の馬谷川、大津の大津川、

旭町の旭川、三崎の白岡

川、下川口の遠奈呂川が2

か所、坂井の峠谷川の計10

件、合計9,800万円を

計上している。

(委員)

設計業務の委託先は。

(執行部)

高知県技術公社に委託

している。

◆漁港施設現年補助災害

復旧費について

(委員)

事業の詳細について。

(執行部)

貝ノ川漁港の災害復旧

の査定設計業務の委託費

用、災害復旧工事費用を計

上している。

(委員)

貝ノ川の被害状況はど

うであったか。

(執行部)

貝ノ川の漁港付近にあ

る防潮堤の倒壊しかけて

いる部分のやり替え、河川

沿いの導流堤の基礎部が

水により掘られており、そ

の部分の復旧工事となっ

ている。

総務文教常任委員会

土佐清水市職員特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する

条例の制定について

(執行部)

令和4年第2回定例会

9月第2回会議で条例改

正の議決を受け、新型コロナ

ウイルス感染症の感染

拡大により、緊迫した状況

の中で、業務に当たる職

員、主に消防職員、しおさ

い職員に対して国家公務

員と同程度の防疫衛生手

当を支給することができ

るよう特例による規定を

設けている。

この特例規定は、国と同

程度の取扱いということ

で設けたものであるが、国

家公務員の防疫等作業手

当について、新型コロナウイルス

ウイルス感染症の感染症法

上の位置付けが、5類感染

症に移行したことを受け、

5月8日付で人事院規則

が改正され、特例に関する

規定が削除されましたの

で、本市においても、国と

同様の取扱いとなるよう

条例改正をするもの。

(委員)

主に消防職員、しおさ

い職員に対する手当とのこ

とだが、それ以外に対象の

職員はいたか。

(執行部)

想定していたのは保健

師で、結果として実績はゼ

ロであった。

(委員)

適用の時期と実績はど

のようになっているのか。

(執行部)

適用の時期は議決以降、

遡及はせず7月6日まで。

実績については、しおさ

い職員に関しては、令和4

年10月以降の実績はゼロ。

消防職員に関しては、令和

4年10月から令和5年3

月まで、合計で延べ91回の

実績が上がっており、金額

にすると28万3,500円

の支給となっている。令和

5年4月以降については

消防職員に関しても、実績

はゼロである。

土佐清水市立保育所・小学校

統合実施プランの策定

について

(執行部)

統合実施プランの策定

に当たっては、学校規模の

適正化等について協議し

た、清水の保育・教育の在

り方検討委員会の最終報

告を受け、園児数や児童数

の推移などを踏まえて、市

教育委員会が案を作成し、

その後、保護者への説明を

行い、保護者の同意が得られなかったところはプランから除外した。

統合の実施時期としては、令和6年度統合実施として、下ノ加江保育所をきらら清水保育所に統合。下ノ加江小学校と幡陽小学校を清水小学校に統合を実施する。

(委員)
地域の皆さんの声はどのように拾い上げていくのか。

(執行部)
統合前には、教育長、保護者代表、地区代表との間で覚書を交わすこととしており、その際に今後の学校施設等の活用も含めた話し合いをしたいと考えている。以前の中学校の統合の経験を踏まえ、交流授業を行うことで子供たちが安心して、気持ちよく統合できる状況をつくっていったほしいということ、地域や保護者、教員にも話し、意見を聞きながら進めている。

(討論)

統合実施プランの中の「適正規模」(保育所全園児数10名以上、小学校全児童数20名以上)で統合を進めると、適正規模ありき、統合ありきになってしまう。適正規模自体も確かなものではない。地域に小学校があり、保育所を残すというのは、まちづくりの観点から必要だ。若者が住める、子育てが端々でもできるような条件整備をしておくべきではないか。保育・教育は予算がかかっても行うべきことで、経済効果では語れない。地域との関係から見ても、私はこの統合実施プランについては、反対である。



令和4年度後期 政務活動費収支報告

議員の調査研究に資するために必要な経費の一部として、議員1人当たり月額8千円(年間9万6千円)を政務活動費として交付しています。

なお、令和4年度は改選の年であるため、前期分(4月～9月)と後期分(10月～3月)の2回に分けて交付しております。後期分の政務活動費収支内容については下記のとおりです。

(前期分につきましては議会だより第123号に掲載しております。)

(単位:円)

会派(人数)	新風会(5人)	議会会派みらい(3人)	市民のこえ(2人)	希望(2人)
期間	R4.10月～R5.3月	R4.10月～R5.3月	R4.10月～R5.3月	R4.10月～R5.3月
交付額	240,000	144,000	96,000	96,000
支出	48,000	0	96,000	82,259
調査研究費	0	0	33,660	
研修費	0	0	14,840	10,640
広報費	0	0		16,467
広聴費	0	0	0	0
資料購入費	0	0	47,500	44,818
事務所費	48,000	0	0	10,334
残額	192,000	144,000	0	13,741

主な内容

新風会 形岡 弘士 弘田 条 山崎 誠一 細川 博史 永野 裕夫	事務所費:パソコン購入(支出上限額48,000円)
議会会派みらい 武政 健三 作田 喜秋 浅尾 公厚	支出なし
市民のこえ 岡本 詠 前田 晃	調査研究費:法律相談、振込手数料 広報費:議会広報印刷(2分の1按分) 資料購入費:書籍購入
希望 新谷 英生 吉村 政朗	広報費:会報1号・2号の発行(2分の1按分) 事務所費:文房具・プリンター購入(2分の1按分) 資料購入費:書籍購入

議長の活動報告

議長は年間を通じて議会を代表し、各種行事、式典や会合等に出席するほか、本会議において議事を整理し、議会の事務を統理するといった職務を遂行しています。

4月から6月までの議長の主な活動状況については、左のとおりとなっております。

- 4月
- 2日 土佐清水市立竜串福祉センター落成式典
 - 4日 第142回高知縣市議会議長会定期総会(高知市)
 - 16日 津呂部消防屯所新築に伴う竣工式
 - 25日 土佐清水市身体障害者連盟総会
 - 26日 「道の駅めじかの里土佐清水」プレオープン
 - 29日 「道の駅めじかの里土佐清水」

オープニングセレモニー

- 5月
- 15日 道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会
通常総会・道路整備促進高知県大会(高知市)
 - 16日 土佐清水市姉妹都市友好協会定期総会
 - 17日 宿毛市議会正副議長就任挨拶来庁
 - 18日 黒潮町議会正副議長就任挨拶来庁
 - 22日 三原村議会正副議長就任挨拶来庁
 - 30日 四国西南地域道路整備促進協議会総会

(愛南町)

- 6月
- 7日 令和5年度高知縣市町村振興協会第2回評議員会
(高知市)

- 8日 第85回四国市議会議長会定期総会(松山市)
- 14日 全国市議会議長会第99回定期総会(東京都)
※委員長代理として地方行政委員会報告
- 21日 一般社団法人土佐清水ジオパーク推進協議会役員会
- 23日 高知県防衛協会土佐清水支部会員懇談会
- 28日 一般社団法人土佐清水ジオパーク推進協議会
社員総会
土佐清水市商工会議所議員懇談会
- 30日 第34回四国西南サミット(西予市)



津呂消防屯所



全国市議会議長会

全国市議会議長会及び四国市議会議長会から表彰状及び感謝状が贈られました

○全国市議会議長会

特別表彰(20年以上議員) 永野 裕夫 議員

感謝状(地方行政委員会) 細川 博史 議長、永野 裕夫 議員

○四国市議会議長会

特別表彰(20年以上議員) 永野 裕夫 議員

一般表彰(8年以上議員) 細川 博史 議長、前田 晃 議員、浅尾 公厚 議員

6月19日の本会議小休中に作田副議長から細川議長に、細川議長から前田議員、浅尾議員、永野議員に、それぞれ表彰状及び感謝状の贈呈式が行われました。



- 4月 10日 議会だより編集委員会
 12日 産業厚生常任委員会
 17日 議会運営委員会／議会だより編集委員会
 25日 産業厚生常任委員会(土佐清水市地場産品販売施設視察)
- 5月 1日 議会運営委員会
 8日 5月会議再開・散会／予算決算常任委員会／総務文教常任委員会
 ／産業厚生常任委員会
 12日 全員協議会／議会運営委員会
 31日 議会運営委員会
- 6月 12日 議会運営委員会
 13日 総務文教常任委員会／産業厚生常任委員会
 19日 6月会議再開
 26日 一般質問
 27日 一般質問／議会運営委員会
 28日 一般質問
 29日 予算決算常任委員会／議会運営委員会
- 7月 3日 総務文教常任委員会
 6日 6月会議散会／議会運営委員会

編集後記

細川議長がお亡くなりになりました。市議会議員として3期目となり、現職の議長として活躍されておりましたので非常に残念でたまりません。御本人の御冥福と、御家族御親族には謹んでお悔やみ申し上げます。

さて、6月2日の大豪雨では、市内各地で河川や農地、漁港、市道などで大きな災害が発生しました。貝ノ川漁港防潮堤の災害復旧費約1億3千万円をはじめ、約90ヶ所の復旧工事に総額3億2,274万4千円の補正予算が計上され、すべて議決されました。1日も早い復旧を願っているところであります。

条例案では、土佐清水市立保育所・小学校統合プランの策定について提案され、令和6年度統合実施として、下ノ加江保育所をさらに清水保育所へ統合、下ノ加江小学校・幡陽小学校を清水小学校へ統合することが議決されました。

委員長 弘田 条

市議会ホームページは
 下記QRコードから
 御覧いただけます



市議会の
 傍聴について(お願い)

新型コロナウイルス感染症の基本的対処方針の変更に伴い、傍聴される方の、マスクの着用は自己判断に委ねられます。手指のアルコール消毒等の感染症対策は引き続きご協力をお願いいたします。

本会議の一般質問など会議での発言を記録した「会議録」を市民図書館・議会事務局でご覧いただけます。

次回の開催予定は9月中旬です。日程が決まり次第、防災行政無線でお知らせいたします。

開催日程など詳細は、事前に議会事務局(☎82)1112)までお問い合わせください。



土佐清水市議会だより

編集委員会

委員長 弘田 条

新谷 英生

前田 晃

浅尾 公厚

永野 裕夫